

HITA 日田市 埋蔵文化財 センター

Buried Cultural Properties Center



休館日 土・日・祝日・年末年始
開館時間 午前9時から午後4時

入館無料

日田市教育委員会

展示概説

はじめに～日田市の地形～

筑後川の上流域にある日田盆地は、耶馬溪火砕流や阿蘇4火砕流によって形成された台地や丘陵に囲まれます。さらに上流の玖珠との間には優れた景観の滝や天ヶ瀬温泉があり、津江山系には深い谷地形が形成され、水系に沿って小谷が随所にみられます。北部九州の中央部に位置し、多様な地形を持つ日田は、四方からの文化を受け入れては、独自の歴史を育んできました。

～阿蘇4火砕流と小野川の埋没樹木～

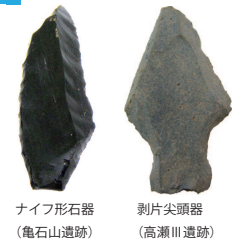
今から約9万年前に発生した阿蘇山の4回目の破壊的噴火によって、九州のほぼ全域を覆い尽くした火砕流は日田市小野川の谷に到達しました。凄まじい破壊力によって樹木をなぎ倒され埋まった埋没樹木群が川底から発見され、大きく変形して折れ、焼け焦げていました。現地は国の天然記念物に指定されています。



旧石器時代～狩猟民の生活～

今から約3万5千年前から約1万5千年前までの旧石器時代に、日本人の祖先は、狩猟の道具である石器などを作り、獲物を求めて日本へ移動してきたと考えられます。

天瀬町の五馬台地では、約3万4千年前の焚火跡が見つかった高瀬Ⅲ遺跡、狩猟の拠点であった亀石山遺跡などの多くの遺跡が見つかっています。



縄文時代～定住生活の始まり～

今から約1万3千年前に始まる縄文時代には、弓矢と土器が発明され、川に近い遺跡からは、漁労に使用した石錘なども見つかります。川の近くにも生活域が広がり、人々は定住生活を営むようになります。市内各地でも竪穴住居が見つかります。定住生活に伴って精神文化が発展し、土偶などの祭祀に用いる道具が多数作られます。



埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の発掘調査等で出土した資料の保存と活用、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

【埋蔵文化財センターの主な業務】

1. 埋蔵文化財の発掘調査及び研究
遺跡の記録保存のための発掘調査やその調査成果の研究を行っています。



2. 資料の収集、整理及び保管
発掘調査において出土した土器や石器などの遺物を整理・保管する作業を行っています。



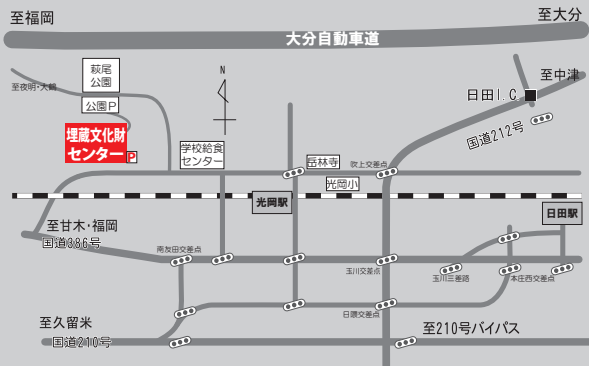
3. 調査成果の普及及び啓発

発掘調査現場の公開、講座の開催、火おこしなどの体験教室を行っています。



4. 資料の展示、公開

展示室で常設展や企画展を開催しています。



日田市埋蔵文化財センター

〒877-0078 大分県日田市友田2893-44
TEL 0973-26-3211

【問合せ先】

文化財保護課埋蔵文化財係
〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1 TEL 0973-24-7171

